

## 令和3年度地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 沼田市 (都道府県: 群馬県 )  
 本事業の担当部局名 沼田市健康福祉部子ども課子育て支援係

事業メニュー	優良事例の横展開支援事業		
区分	結婚に対する取組		
関連事業メニュー	2.1.3 その他、各地域において結婚を希望する者の希望の実現を支援するための取組		
個別事業名	ハッピープロジェクト事業(地域で見守る縁結び)	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ~ 令和4年3月31日		
対象経費支出予定額 ※(注)1	1,122,000 円		
各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>沼田市の庁内ワーキンググループが平成27年の新成人に実施したアンケートで、回答者の約9割が「30歳までに結婚」したいと答えているが、実際の婚姻数、婚姻率から希望どおり結婚に至ることが難しい状況であるという課題が浮き彫りとなった。</p> <p>若い世代の結婚への支援は就業など生活の安定への支援等に加え、婚姻率上昇に向けた適切な出会いの機会の提供が必要との考えから、平成28年度より地域少子化対策重点推進交付金を活用し、地域全体で若い世代の結婚を応援する事業「ハッピープロジェクト事業(地域で見守る縁結び)」を実施している。市内で活動する団体のネットワーク「ぬまたハッピープロジェクト運営委員会」を立ち上げ、観光資源や公共施設を活用した交流イベントの開催やサポーターの養成など、地域の特性を活かした事業を展開し、結婚応援(出会い)イベントが地域に定着しつつある。</p> <p>今後はこうしたイベントを開催しつつ、成立したカップルをきめ細かくフォローし、成婚につなげるための支援を行っていくための体制づくりと、地域の中で若い世代が継続的に集まることのできる出会いの場づくりを行い、参加者に対してきめ細かい支援を行うことにより、成婚率の向上に向け一層高い効果を目指していく。</p> <p>また、沼田市では少子化対策の取組として、平成28年度より地域少子化対策重点推進事業を活用し、「未来のライフデザイン啓発事業」(助産師の「いのち」の授業や山形県の取組事例である高校生等のライフデザインセミナーを参考とした中学生・高校生を対象とする講座の開催、子育て支援団体による啓発リーフレットの作成など)を実施し、命を生ま育て未来を育むことの大切さの啓発や、主に若い世代が結婚、妊娠、出産、子育て、居住、仕事を含めた将来のライフデザインを希望どおり描けるよう支援する取組など、社会全体で結婚や子育てを応援する機運を高める事業を展開してきた。</p> <p>事業を展開する中で、核家族化、地域との関わりの希薄化により、小さな子どもと触れ合う経験が減少し、若い世代が結婚・妊娠・出産・子育て、居住、仕事について具体的にイメージしづらくなっていることが課題となっている。啓発のため小学生・中学生を対象に乳児とのふれあい体験を実施する。また、子育て支援団体や青少年団体等の協力により啓発動画を作成する。</p> <p>ぬまたハッピープロジェクトの構成員が未来のライフデザイン啓発事業に携わっており、市の事業とぬまたハッピープロジェクト運営委員会の事業が混在している状況であったため、令和3年度からぬまたハッピープロジェクトに統合し、連携の更なる強化を図り、地域で見守る縁結びとして、関係者の意識向上も含め市民協働による効果的な事業展開を目指す。</p>		
(個別事業の内容) ※(注)3	<p>本個別事業においては、地域で見守る縁結びとして下記の事業を行う。事業の実施に当たっては、事業内容が特定の価値観の押し付けやプレッシャー・ハラスメントとならないよう男女共同参画部局等の関係部局や有識者等と連携する。</p> <p>○出会いサポート事業 1,122千円 このほか、交付金対象外100千円(食料費・成婚記念品)</p> <p>〈現状と課題〉 平成28年度に立ち上げた出会いを応援し地域を元気にするネットワーク「ぬまたハッピープロジェクト運営委員会」には現在11団体が登録し、委員は各イベントのサポーターとして活動しているが、更なるネットワークのサポーターを確保し養成していくことが課題となっている。また、これまでの参加者アンケート等からより小規模で継続的に交流ができる出会いの場を求める声があったため、平成31年度に「はびぶる恋活部」を創設したところであるが、テーマによっては参加者が集まらず中止になった回数もあったことから、さらなる部員の確保、開催テーマの工夫が課題となっている。</p> <p>また、少子化対策の取組として、子育て支援団体との協働により啓発リーフレットを作成し新成人等に配布するなど、命を生ま育て未来を育むことの大切さの啓発や、主に若い世代が結婚、妊娠、出産、子育て、居住、仕事を含めた将来のライフデザインを描けるよう支援する取組など事業展開をしてきているが、核家族化、地域との関わりの希薄化により、小さな子どもと触れ合う経験が減少し、出会いイベント参加者も含め若い世代が結婚・妊娠・出産・子育て、居住、仕事について具体的にイメージしづらくなっている。また、財政状況が厳しいなか、最小限の費用で最大の効果を上げる事業の展開が課題となっている。</p> <p>また、恋活部の部員は増加したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点よりR2年度のイベント・セミナー等の実施はできなかった。</p> <p>〈課題への対応〉 引き続き市内で活動する団体の参加を働きかけるほか、個人会員を積極的に募集しネットワークの拡大を図る。ネットワークのフェイスブックから情報を発信し、市の公式や各参加団体のフェイスブックからシェアすることにより情報発信におけるネットワーク化を推進する。個別の出会いを希望する未婚者には社会福祉協議会の結婚相談事業登録を勧め、1対1の出会いの機会を創出する等、今後も継続的に実施しつつ、未婚者向けセミナー、出会い応援イベント、サポーターによる参加者へのフォローと有機的に連携させながら推進していく。婚活イベントに興味はあるが参加をためらっている人や婚活イベントへの事前準備をしたい人などの多様なニーズに応じるために、婚活ガイドブックを作成し婚活に関する情報提供を行う。</p> <p>また、啓発動画は新成人のほか、結婚、妊娠、出産、子育てが身近な出会いイベント参加者にも閲覧可能とし、啓発効果の拡大を図る。R3年度は、新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立たない中でも活動ができるよう、オンラインイベントの実施も検討していく。タブレットのリースをすることで、情報発信を迅速に行う。さらに、オンラインイベントの開催ができる環境を整備する。</p>		

## ①はびぷろ恋活部活動の実施(参加者12人×1回)(39千円)

未婚者が気軽に出会いきっかけづくりの場として平成31年度に創設した「はびぷろ恋活部」(部員は登録制でR2.10現在104人)。部活動は「映画」「料理」など、毎回テーマを決めて比較的少人数で実施するが、テーマによっては参加者が集まらず中止になった回もあったことから、今年度はテーマを部員から募集するなど参加者の意見を取り入れることとし、更なる部員確保のためチラシの配布を飲食店や商業施設に拡大する。

【委託料】 前々年度実績に基づく

講師謝金 15,000円×1人×1回=15,000円  
会場費 5,000円×1回=5,000円  
消耗品等 10,000円×1回=10,000円  
チラシ印刷費(デザイン込) @30円×300枚=9,000円 計39,000円

## ②未婚者向けセミナーの実施(参加者30人×1回)(89千円)

過去に実施した出会い応援イベントで、出会いの場にふさわしくない服装や、会話の話題に困っている参加者がいたため、今までに出会い応援イベントに参加した人、はびぷろ恋活部登録者などを対象に、コミュニケーション力や第一印象アップのための身だしなみなどをテーマにセミナーを実施する。

【委託料】 前年度申請に基づく

講師謝金 75,000円×1人×1回=75,000円  
会場費 9,000円×1回=9,000円  
消耗品等 5,000円×1回=5,000円 計89,000円

## ③婚活ガイドブックの作成 (82千円) &lt;新規&gt;

婚活を始める人や出会い応援イベントに興味がある人向けに、婚活に必要な情報をまとめた冊子を作成し、未婚者向けセミナーや出会い応援イベントの参加者等に配布する。また、データを市HPにも掲載する。過去のイベントがきっかけで成婚した人にインタビューした内容の掲載なども行う。

配布先: イベント等参加者200部、窓口配布200部、サポーター100部

印刷製本費(A5 24P、無線綴じ) 500部 60,000円 見積書に基づく  
取材協力費(実費相当を支給) 1,100円×20P=22,000円 前年度のサポーター活動報償費に基づく 計 82,000円

## ④オンラインイベント・広報用環境の整備 (300千円) &lt;新規&gt;

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、イベントの開催が厳しい状況となっている。このため、コロナウイルス感染症により現実でのイベント開催ができない状況の場合に備え、オンラインイベントの開催ができる環境を整備する。ZOOMなどのオンラインアプリを使用し、参加者が全員を見れたり1対1での会話ができるよう、運営側の操作用タブレットを準備する。また、wifi環境の整備も必要となる。オンラインイベント開催時以外は、会員のスマホで行っていたフェイスブック・恋活部のLINEを運営委員会の端末に変更し、操作者以外も内容を確認・更新できるようにする。R2年度に社会福祉協議会がオンラインイベントの開催を予定していたが、申込者が少ないため中止となった。これを踏まえ、事前に恋活部部員にアンケート調査を実施した上で希望者が多数だった場合に開催する。(R2にアンケートを2回実施したが希望者は少数だった。)

タブレットレンタル料金(wifi料金含む) 282,900円×1.1=311,190円 見積書に基づく  
レンタル終了時の送料 700円×1.1=770円 見積書に基づく 計 311,960円

## ⑤出会い応援イベントの実施(参加者30人×1回)(183千円)

セミナーへの参加でコミュニケーション力などのスキルを得て自分に自信が付いて来た方などを対象に、独身男女の出会いの場として出会い応援イベントを開催する。イベントの企画に当たっては、ネットワーク構成団体を通じて、またはセミナー・イベント参加者へのアンケートにより未婚者のニーズを把握して行う。観光資源や地域資源を活用し地域の魅力を発信できるような出会いの場を創出する。イベントには「サポーター」がアドバイザーとして参加し、結婚希望者のフォローを行う。また、イベントの広報手段としてポロシャツを作成し、ハッピープロジェクトのロゴやQRコードをのせ、参加者がサポーターや運営者と参加者の区別が付きやすいようにする。

【委託料】

会場費 50,000円×1回=50,000円 前々年度実績に基づく  
司会料 15,000円×1回=15,000円 前々年度実績に基づく  
消耗品(封筒・用紙・名札・筆記用具・会場装饰材料等) 10,000円×1回=10,000円 前々年度実績に基づく  
チラシ印刷費(デザイン込) @30円×600枚=18,000円 前々年度実績に基づく  
Tシャツ作成(デザイン費) 30,000円 見積書に基づく  
Tシャツ費用 3,000円×20枚=60,000円 見積もりに基づく 計183,000円

## ⑥サポーターの養成(養成講座参加者10人×2回、サポーター活動延べ50人)(59千円)

サポーター養成講座を開催し、少子化の現状、結婚支援への理解を深め「サポーター」を養成する。「サポーター」はセミナーやイベントにアドバイザーとして参加し、結婚希望者のフォローを行う。各サポーターにおいては、メールやSNS(フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど)によりイベント情報等の拡散を積極的に行うようにする。

【委託料】 前年度実績に基づく

講師謝金 15,000円×1回=15,000円  
サポーター活動報償費(実費相当を支給) 2,000円×延べ22人=44,000円 計59,000円

## ⑦赤ちゃんとのふれあい体験講座の実施 参加者160人(小学生・中学生40人×2回)(70千円)

過年度において、将来の出産、子育てについて具体的にイメージできるよう支援する機会を提供する事業として乳児とのふれあい体験が特に効果的であったことから、継続的な啓発のため小学生・中学生を対象に、赤ちゃんとのふれあい体験を実施する。なお、講座の実施は市内小学校・中学校から募集し、クラス単位やPTA行事など実施形態は問わないものとする。ウェブサイトに「〇〇に赤ちゃんが来ました」など、講座の内容や参加者の感想を掲載し、積極的に情報発信する。

【委託料】 前々年度実績に基づく

講座委託料 35,000円×2回=70,000円  
※基本料金: 33,000円(税込)90分以内 受講生30人まで  
インストラクター2人、ママ講師+赤ちゃん先生 4組  
10人追加ごとに ママ講師+赤ちゃん先生 1組2,000円(税込)  
※講師はNPO法人ママの働き方応援隊(赤ちゃん先生)からの派遣を想定。

⑧啓発動画「ハタチからの参考書ーこれからのじぶんをイメージするー」の作成（300千円）

子育て支援団体及び成人式実行委員会(青少年団体及び新成人代表)の協力により、作成協力者のワークショップとして「子育て中の世代から若い世代へ伝えたいこと」「若い世代の知りたいこと」、「地元で働いている若者からのメッセージ」等をまとめ、若い世代が結婚や出産、子育て、仕事を身近に感じ、それらを含むライフデザインを考えるための情報を提供する内容とする。また、出産経験者や助産師による「出産とキャリア、性に関する知識」等の記事を掲載し、先輩からのアドバイスや医療関係者からの医学的な出産や自分の身体を守るための知識の提供も行う。掲載内容については、男女共同参画の所管課と共同で策定し、多様な生き方があることに配慮するとともに特定の価値観の押し付けとならないよう留意する。

若い世代が結婚・妊娠・出産・子育て、居住、仕事について具体的にイメージできるよう、作成した動画は成人式において配布するほか、出会い応援イベント、未婚者向けセミナー参加者等に周知効果的な啓発を行う。

【委託料】 前年度実績に基づく

動画作成

動画編集等作業委託料 200,000円

デザイン作成委託料 100,000円 計300,000円

〈次年度以降の事業の方向性〉

オンラインでの出会い応援イベントの開催を検討する。

出会い応援イベントの参加者アンケート(イベントの満足度、今後参加したいイベントなど)を行い、次年度以降のイベント内容、効果的な実施方法について検討する。

出会い応援イベント等で成立したカップルを今後もフォローし、成婚につなげる支援を行う(具体的には結婚支援コーディネーターが定期的に連絡を取り、アドバイスを行っていく)

実施した講座の参加者アンケート(講座を受けて「結婚・出産・子育て」を身近に感じるようになったかなど)に基づき、次年度以降の講座内容、効果的な実施方法について検討する。

	KPI項目	単位	目標値	現状値	
・個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	①はぴぶろ恋活部				
	目標参加者数	人	24(12人×2回)		
	参加目標人数の達成率	%	100	100	
	「部活動への参加を友人等に薦めたい」と回答した人の割合	%	70	65	
	「部活動への参加をきっかけに結婚に関する活動に前向きになった」と回答した人の割合	%	70	65	
	②未婚者向けセミナー				
	目標参加者数	人	30(30人×1回)		
	参加目標人数の達成率	%	100	10	
	「婚活への意欲が高まった」と回答した人の割合	%	75	70	
	③婚活ガイドブックの作成				
	配布数	部	400	0	
	「婚活への意欲が高まった」と回答した人の割合	%	60	0	
	④オンラインイベント・広報用環境の整備				
	操作できるようになった職員の人数	人	2	0	
	リースするタブレットの台数	台	1	0	
	イベント・恋活部の広報の回数	回	5	0	
	⑤出会い応援イベント				
	目標参加者数	人	60(30人×2回)		
	参加目標人数の達成率	%	100	100	
	「イベントへの参加を友人等に薦めたい」と回答した人の割合	%	85	80	
	「イベントに参加して結婚に関する活動に前向きになった」と回答した人の割合	%	85		
	⑥サポーター養成				
	サポーター登録数	人	40	34人(R2.10現在)	
	サポーター養成講座目標参加者数	人	20(10人×2回)		
	参加目標人数の達成率	%	100	100	
	サポーター活動延べ人数	人	50	50	
	「結婚支援に対する意識が変化した」と回答した人の割合	%	90	85	
	はぴぶろ恋活部、未婚者向けセミナー、出会い応援イベント参加者3のうち、アンケートにおいて「サポーターの支援に満足した」と回答した人の割合	%	80	75	
	⑦赤ちゃんとのふれあい体験				
	目標参加者数	人	80(40人×2回)		
参加目標人数達成率	%	100	100		
「結婚・出産・子育てについて具体的にイメージできるようになった」と答えた割合	%	80	80		
⑧啓発動画					
動画についてのデータを入れたUSBを配布した新成人等	人	400	新成人500人のうち出席者80%を想定		
動画の視聴回数	件	1000	1000		
結婚・出産・子育てを身近に感じるようになったと答えた動画作成協力者の割合	%	70	70		

